

## 平成22年度 地域連絡会議

- 日 時 平成23年3月24日（木） 午前9時55分から午前11時05分
- 場 所 国立病院機構松籟荘病院 研修棟研修室
- 議 題 1. 松籟荘病院の運営状況  
2. 医療観察法病棟（5病棟）の運営状況  
3. その他

### 院長挨拶

- ・平成22年8月に医療観察法病棟が開棟しました。自治体、自治会、奈良県関係者から構成された地域連絡会議準備会、および近隣自治会から構成された調整会が開催されて参りましたが、開棟にともない、地域連絡会議として統合し継承いたします。
- ・医療観察法病棟の運用状況は、平成22年9月時点で、国関係では15か所開棟し病床数は478床、都道府県関係では10か所開棟し病床数は120床です。厚生労働省としては、最終的には740床を目標として計画を進めています。
- ・医療観察法の実際の運用状況は、平成22年9月時点で入院480名、通院608名、平均入院日数は574日と報告されております。
- ・当院の医療観察法病棟には、平成23年3月現在で30名が入院しており、その内訳は、転院8名、新規入院22名であり、まだ退院はございません。

### 議題1. 松籟荘病院の運営状況

- ・病院名の変更  
平成23年4月1日より「やまと精神医療センター」に名称変更します。独立行政法人化以降の国立病院機構の方針を踏まえ、地域名と専門領域を反映した名称といたします。
- ・病院全体の患者数  
精神科病床の150床は131名が入院中であり、（動く）重症心身障害病床の80床は満床です。外来は1日75～100名の受診となっております。
- ・3、4病棟の建て替え  
重症心身障害病棟は、老朽化のため建て替えを計画しております。平成25年頃の開棟を予定しております。

### 議題2. 医療観察法病棟（5病棟）の運営状況

- ・入院患者の内訳  
平成22年8月に開棟し、現在男性22名、女性8名の合計30名が入院中です。

20～60歳代が入院中で、30歳代が最多です。患者出身地の地域別では、近畿圏が29名、北海道が1名です。精神疾患の内訳は、統合失調症及び統合失調症圏が27名（約88%）とほとんどを占めています。ステージ別では、急性期11名、回復期18名、社会復帰期1名（回復期にて当院に転院されました）です。

- ・外出・外泊訓練

外出は、平成22年9月から院内散歩、院外外出訓練を実施しており、外泊は1回実施されました。

### 議題3. その他

- ・無断退去訓練

無断退去訓練を2回実施しました。院外で無断退去した場合を想定して、対象者を確保するCVPPP訓練を実施しております。今後も、無断退去訓練を年2回実施の予定です。

- ・火災時の避難訓練等

火災時の避難訓練を2回実施しました。病棟内が3つの区画に分かれており、火災発生時は他の区画へ避難することを第一に想定し、直接外へ避難することは想定しておりません。

対象者の喫煙については、職員がライターを管理しております。対象者はライターを自由に使えないように管理しております。

院外での避難訓練については、見学の機会を検討いたします。

- ・地域への連絡体制

無断退去時の自治会等への連絡については、発生時刻にかかわらず24時間連絡することとします。自治会長のご不在に備えて、3番目までの連絡先を各自治会から提出していただきたく存じます。

- ・東北地方太平洋沖地震について

東北地方の医療観察法病棟では花巻病院にあり、人的・建物被害は無しでした。少しの時間停電しましたが、自家発電装置が作動しました。当院も自家発電装置を備えております。

- ・その他自治会からの要望

病院西側の樹木の伐採のご要望をいただきました。当院の敷地であることを確認した上で伐採いたします。国や自治体などが所有する部分であれば、伐採を依頼させていただきます。